

# 事業概要シート

施策 0101 出会いと結婚の支援

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計  
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く  
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

事業名	結婚応援事業	現状維持	予算額	5,792 千円
			《	5,743 》千円
事業期間	平成30年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	地域少子化対策重点推進交付金交付要綱		県支出金	3,861 千円
			地方債	千円
			その他	千円
		一般財源	1,931 千円	

【事業の目的・概要・対象】

<目的>

婚活サポートセンターにおいて、結婚を望む独身男女に婚活相談を行うほか、お見合いシステムや縁結び隊の活動、WizConの推進、婚活イベントの開催等により、出会いの場を提供し結婚をサポートする。

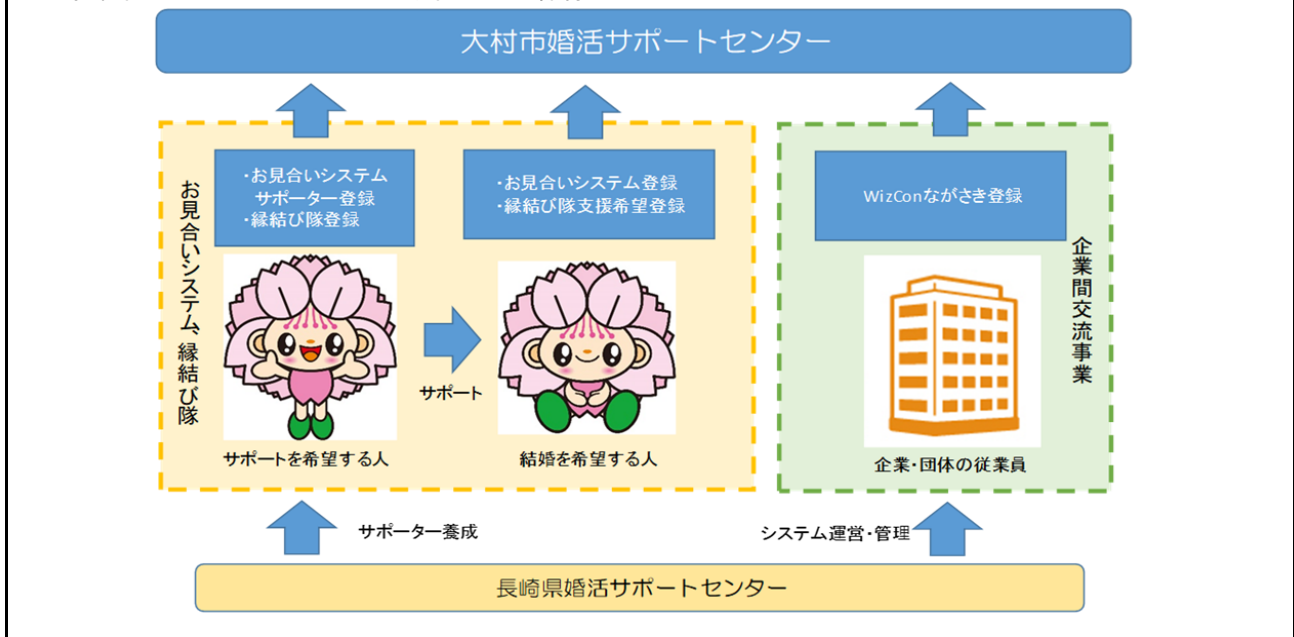
<事業概要>

- 1 県婚活サポートセンターが実施する相談員研修を受講した専任の職員を配置し、結婚に関する相談に対応する。
- 2 お見合いシステムに登録した会員同士によるデータマッチング及び縁結び隊により会員同士を引き合わせる。
- 4 県が実施するサポーター養成講座の誘致に努めるとともに、出張養成講座を開催する。
- 5 民間の事業者ノウハウを活用した婚活支援事業を実施する。
- 6 県が実施する企業間交流事業について、県と連携し企業の登録を推進し、企業同士の出会いの場の提供を図る。

※サポーター

- ・お見合いシステムサポーター：お見合いシステム登録者の引き合わせから成婚までをサポートする方。
- ・縁結び隊サポーター：縁結び隊登録者の引き合わせから成婚までをサポートする方。

大村市婚活サポートセンターの取り組みの全体像



【背景】

本市は、県内で唯一人口が増加している市であるが、大村市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた合計特殊出生率1.90を目指す取組の一つとして、大村市婚活サポートセンターにおいて、お見合いシステム及び縁結び隊の活動を中心に、独身男女の出会いから結婚までの支援を行っている。

令和3年度からは、システムでのプロフィール閲覧、引き合わせ申し込みが自宅で出来るようになるため、引き合わせ数の増加が見込まれる。また、地域で結婚支援の協力者を増やそうと県が設置する地域コーディネーターの発掘も県と連携して取り組む必要がある。

担当課	こども未来部こども政策課	課長	赤瀬 雅昭
担当者	武内 拓馬	問合せ先	0957-54-9100

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	お見合いシステム・縁結び隊の引き合わせ数	計画値 件	83	100	105	110	115
②		計画値					

### 【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	お見合いシステム・縁結び隊のカップリング数	計画値 件	43	50	50	50	50
②	成婚数	計画値 組	5	9	10	10	10

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費	5,068	4,764	5,743	5,792	5,792	5,792	32,951
国庫支出金							0
県支出金	3,047	2,820	2,871	3,861	3,861	3,861	20,321
地方債							0
その他	2,020						2,020
一般財源	1	1,944	2,872	1,931	1,931	1,931	10,610
人件費	4,904	6,413	6,253	6,253	6,253	6,253	36,330
職員(人)	0.42人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人	3.42人
時間外勤務(h)		100h	20h	20h	20h	20h	180h
会計年度任用職員(人)	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	6.00人
フルコスト	9,972	11,177	11,996	12,045	12,045	12,045	69,281

妥当性 (市の関与)	少子高齢化が進む中、結婚を希望する若い独身男女を支援することにより、減少している子どもの出生率増を図る取組であり、市が関与することは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	本事業は、人口10万人を目指す取組の一つとして、若い世代の結婚に対する意識を醸成し、結婚までの過程を後押しする事業であり、施策への貢献度は高い。
効率性 (コスト)	本事業は、センターの運営及び婚活支援のノウハウを持った事業者を活用することにより、効率的、効果的に運用ができ、必要最小限の経費である。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり